

会誌掲載記事の申し合わせ

1. 編修規程第3条に規定されている電気学会誌に掲載する記事の指標は、付1のとおりとする。
2. 会告は、内容により国際交流・学術振興欄，部門活動欄，支部活動欄，研究会欄，主催・共催・協賛案内，関係行事案内などに振り分ける。

(改廃等)

1. 本申し合わせは、平成3年7月2日，編修会議において承認制定。
2. 本申し合わせは、平成8年3月25日，編修会議において改正。
3. 本申し合わせは、平成8年3月25日より施行。
4. 本申し合わせは、平成12年12月13日，理事会において一部改正。

会誌掲載に関する指標

巻頭言	学会運営の節目にあたってのあいさつ文あるいは論文。	2ページ 以内
随 想	学術または技術に直接関連したものに限らず人生経験を通じて感じたこと、想うことなど、一般会員に感銘を与える内容（エッセー）のもの。	2ページ 以内
論 説	学術、技術またはそれに直接関連がなくても会員一般の関心を促したいと考えられる意見、本会の事業および動向に対する批判・意見および会員一般に特に関心を持たれる事項などを簡潔端的に記述するもの。	3ページ 以内
講 演	本会が主催・共催した講演会および、その他であっても内容が特に本会会員に益するところが大きいと思われる講演全文または要旨。	5ページ 以内
インタビュー	会員が関心を持ったり、会員の関心を促したいと考えられる事項について、インタビューによる紹介が適切と考えられるものを主題とする。	
取材記事	会員が関心を持ったり、会員の関心を促したいと考えられる事項について、取材記事による紹介が適切と考えられるものを、主題とする。	4ページ 程度
座談会 討論会	解説などで取り上げるよりも、その道の専門家による自由な発言をもとに問題点を解説した方が適切と考えられるものを主題とする。	5ページ 程度
特 集	ある分野の問題について、総合的な解説を行うため特別な企画に基づいて多数の著者により記述を収録したもの。	20ページ 程度 (複数著者)
解 説	その時点において関心の払われている技術や関係する問題で、特に本会会員に有用な項目を取り上げて解説したもの。発展途上にある技術の場合など論理的に若干の不確かさがあってもやむを得ない。その時点において読者に新しい知識を導入するのに役立つよう文献などを引用しながら簡明に説明したもの。	4ページ 程度
学生のページ	特に学生（若い技術者を含む）を対象として、先輩の経験談、その時点におけるトピックス、その他を平易に分かりやすく解説したもので、対談あるいは座談会形式により問題点を解説することも考えられる。学会活動に関心を持つ学生を育てることも考慮のこと。	4ページ 以内

技術探索記事	ある技術について，過去より現在に至る発展経過をたどり探索することにより，その技術の今後の発展普及に寄与できる題目について取り上げる。	4ページ 以内
技術レポート	国の内外における技術の動向を調査した結果の要約。電気工学関係会議の紹介，技術委員会における調査報告（技術報告）の要旨などもこれに含まれる。（ただし，技術報告要旨は，1件につき1/2ページ以下）	1ページ 程度
学会だより	学会理事会の概要の報告の他，会員に周知した方が良いと思われる学会の委員会活動の報告や学会要人の死亡にあたっての追悼文。	3ページ 程度
支部のページ	各支部の活動状況紹介など，各支部が独自に企画した記事。企画記事の内容は，各支部に一任する。	2ページ 程度
部門誌目次	各部門誌に掲載された論文題目，著者などの目次紹介。	
規格調査会記事	電気規格調査会内の委員会で取り扱っている規格などの制定・改定の状況を紹介。国際規格などの動向についても同等に扱う。	1ページ 程度
寄書・会員の声	本会の活動に対する自由な意見，批判，希望などを簡潔に執筆したもの。誌上匿名は差し支えない。また，要旨だけを掲載する場合もある。	1件 0.5ページ 以内
編修後記	編修委員会および編修専門部会と読者（一般会員）とのかけ橋として，企画記事の特徴，ねらい，審議状況などを紹介。	1/2ページ 以内
会 告	国際交流・学術振興などの助成事業の周知，大会，部門大会，支部活動，研究会，その他会員に益すると思われる学会諸活動の案内を掲載。	
その他	上記各欄にとれわれず，会員に益するところが大きいと考えられる題目。	

注 1： 自主的投稿があった場合，その採否は関連編修専門部会の審議結果をもとに編修委員会で決定する。

注 2： 頁の指定欄にて "以内" とあるのは，その指定頁以内にまとめること。また， "程度" とある場合は，他の記事の量を加減することにより増減しても良いものを示す。